

■著者紹介

石橋 秀起 (いしばし ひでき)

立命館大学法学部教授

1973年 大阪生まれ

1997年 立命館大学法学部卒業

2002年 立命館大学大学院法学研究科博士前期課程単位取得退学

三重大学人文学部専任講師、助教授、立命館大学法学部助教授、准教授を経て、
2014年4月より現職。

〈主要業績〉

「建築士および建築施工者の不法行為責任——判例の到達点と新たな法益の生成」

立命館法学324号(2009年) 38頁

「欠陥住宅をめぐる判例の動向と今後の課題」現代消費者法18号(2013年) 63頁

ハイン・ケッツ／ゲルハルト・ヴァーグナー著『ドイツ不法行為法』(法律文化社、
2011年)(共訳)